

事業報告書

【第12期】

2024年度

自：2024年4月 1日

至：2025年3月31日

公益財団法人 日本漢字能力検定協会

事業報告書 目次

I. 事業の概要.....	2
1. 日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動.....	2
2. 日本語・漢字に関する調査及び研究活動	5
3. 日本語・漢字に関する能力育成活動	6
II. 理事会・評議員会に関する事項.....	14
III. その他.....	14
IV. 後発事象	15
V. 附属明細書	15

I. 事業の概要

伝統ある日本文化の発展の過程において、日本語・漢字は文化の伝達と進展を根幹で支えてきました。公益財団法人 日本漢字能力検定協会は、社会生活に必要な日本語・漢字の能力を高め、広く日本語・漢字に対する尊重の念と認識を高めるとともに、我が国における生涯学習の振興を通じて日本文化の発展に寄与することを目的としています。

この目的を達成するために、本年度も国内および海外において次に掲げる公益事業に取り組み、あらゆる人々の日本語・漢字の“学び”を支える活動を行いました。

事業（定款第4条1項）

1. 日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動
2. 日本語・漢字に関する調査及び研究活動
3. 日本語・漢字に関する能力育成活動
4. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動

社会生活に欠かせない日本語・漢字に対する興味関心、尊重の念を抱き、生涯にわたって学習する動機付けや、言語生活が豊かに育まれる環境を整備するため、次に掲げる（１）～（６）の手段により、普及啓発・支援活動を行いました。

（１）漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）の運営

日本語・漢字に対する興味関心を高め、不特定多数の人々の学びの動機付けや促進につなげることを目的に、漢字に関する情報の収集や発信、展示を通して漢字の“面白さ”“楽しさ”“奥深さ”を体感しながら学ぶことのできる「漢字ミュージアム」を運営しました。

本年度の来館者数は71,833人でした。

①開館日数：306日

②開館時間：午前9時30分～午後5時

③休館日：原則、毎週月曜日（休館日が休祝日の場合は翌平日に振替）・年末年始

④利用料：

大人		大学生・高校生		中学生・小学生		未就学児	障害者
個人	団体	個人	団体	個人	団体	無料	無料
¥800	¥700	¥500	¥400	¥300	¥200		

*団体は20名以上（団体引率者は10名につき1名免除）／障害者の介護人（1名）免除

○割引・特典制度

- ・修学旅行・課外学習グループ割（2名以上のグループ）
- ・小中高生1名以上と同伴している大人の割引（2名まで）
- ・漢検生涯学習ネットワーク会員割
- ・JAF会員割（会員本人含む2名まで）
- ・年間パスポート（発行日から1年間有効）

大人	大学生・高校生	中学生・小学生
¥2,500	¥1,600	¥1,000

⑤ワークショップ・講座・講演会の実施

館内でのワークショップ、出張ワークショップ等の活動を行いました。

⑥企画展の開催

「漢字で『ほっ』～南久美子の遊墨マンガ～」	4月11日～6月30日	期間来館者数	12,066名
「漢字水族館」	5月28日～9月29日	期間来館者数	25,902名
「今年の漢字®展」	10月16日～5月6日	期間来館者数	34,596名

※2024年度中の来館者数

「漢字で感じる色めぐり」	10月29日～5月6日	期間来館者数	32,783名
--------------	-------------	--------	---------

※2024年度中の来館者数

⑦登録博物館の再申請

改正博物館法における登録博物館としての認定を受けるための申請を行い、2月21日付で認定を受けました。

(2) Webサイトの運営

①漢字・日本語検索サイト「漢字ペディア®」 <https://www.kanjipedia.jp/>

漢字および日本語の学習を助け、さらなる興味関心を高めるための活動として、無料で漢字・日本語を検索できるサイト「漢字ペディア」を運営しました。このサイトは『漢検 漢字辞典 第二版』に掲載された漢字および語句のデータをもとに制作したもので、角川「新字源 改訂新版」と連携して漢字のなりたち情報も付加しています。パソコンやスマートフォンなどから調べたい漢字や語句をいつでも検索することができ、また、インターネット辞典「goo 辞書」とも連携をはかっているため、同辞典で漢字を検索すると「漢字ペディア」の情報が表示されるようになっています。5,347万pv／年度

②漢字・日本語 Web マガジン「漢字カフェ®」 <https://www.kanjicafe.jp/>

漢字および日本語への興味関心を高めるための活動として、漢字・日本語に関する Web マガジン「漢字カフェ」をリニューアルしました。2023年度をもって発行を休止した『漢検ジャーナル』に掲載していた漢字クイズ、巷の漢字・日本語に関する情報など、身近な言葉に関する話題から学術的な話題までを分かりやすく伝えています。年間記事登録数 44 件 74.9 万 pv／年度

③言語活動に取り組む先生のためのサイト「TEACHannel」 <https://teachannel.kanken.or.jp/>

新しい学習指導要領に記述がある「言語活動の充実」に資するために、言語活動に取り組む先生方に情報を提供する会員制ポータルサイトを運営しました。全教科の学びを支える「言語活動」に役立つ情報をお届けしています。累計記事掲載数：実践事例 96 件 コラム 152 件 33.9 万 pv／年度

④「漢検 団体サポートサイト」 <https://www.kanken.or.jp/dan-sprt/>

各団体における目標達成や課題解決のために、検定（漢検・文章検）や各種協会コンテンツをより効果的にご利用いただくためのサポートサイトを運営しました。検定をご実施いただくにあたって、団体ご担当者の手間を軽減するために、さまざまなシーンでご利用いただける各種資料・ツールやT o D o リスト付きのスケジュール等をご紹介します。16.46 万 pv／年間 ファイルダウンロード数 2.5 万／年度

(3) 漢字文化啓発イベント

①今年の漢字®

『今年の漢字®』は、一年を振り返り世相を表現する漢字一字を考えることで、漢字の持つ奥深い意義を再認識していただく機会として、1995 年から毎年実施している行事です。11 月に、全国からそ

の年の世相を表す漢字一字とその理由を公募し、最も応募数の多かった漢字を12月12日に清水寺(京都市)の森清範貫主の揮毫により発表しました。本年度は、応募総数221,971票のなかから「金」が12,148票(5.47%)を集めて1位となりました。

②今、あなたに贈りたい漢字コンテスト(文部科学省後援事業)

“漢字がつなぐ絆”をテーマとして、「想いを込めた漢字を贈る」ことで人との絆を感じるきっかけや大切な人への想いを改めて認識する機会をつくることを目的とし、漢字を贈るメッセージコンテストとして全国から広く作品を募集しました。12回目となった今回は6月1日から9月20日の募集期間において、「小学生部門」に5,680作品、「中学生部門」に17,459作品、「高校生部門」に18,385作品、「大学生・一般部門」に1,319作品、また「その他」として24作品、合計42,867作品の応募がありました。その中から以下60作品と団体賞受賞10団体を決定し、3月22日に漢検 漢字博物館・図書館において、審査員の橋本五郎氏、華雪氏、ゴルゴ松本氏、やすみりえ氏、および文部科学省生涯学習推進課長が参列(栗山英樹氏はビデオメッセージ参加)し表彰式を執り行いました。

<賞区分>

・絆大賞(文部科学大臣賞受賞作品の中から1作品)	1作品	
・文部科学大臣賞(各部門につき1作品)	4作品	
・日本漢字能力検定協会賞(各部門につき1作品)	4作品	
・審査員賞(各部門につき3作品)	12作品	
・佳作	40作品	合計60作品
・団体賞	10団体	

応募のあった「贈りたい漢字」は計1,690字でした。

4部門を合計した「贈りたい漢字」は、「謝」が最も多く、順に「感」「楽」「愛」「笑」「幸」「優」「友」「夢」「礼」などの漢字が並びました。部門別の応募数の多かった「贈りたい漢字」は下記の通りです。

順位	小学生部門	中学生部門	高校生部門	大学・一般部門
1位	楽	謝	謝	愛
2位	愛	感	感	謝
3位	感	楽	愛	笑
4位	友	笑	楽	楽
5位	笑	愛	笑	幸

なお、昨年第11回の受賞作品を冊子化(7,000冊)し、応募団体や希望のあった団体に無料で送付しました。

(4) 漢字まなび活動助成

日本全国における漢字学習の振興を目指して、当協会以外の団体が行う、地域の漢字学習の振興に寄与する活動に対して、その活動費用の一部を助成する制度を、平成29年度より開始しました。活動1件あたりの助成金額は、活動に係る予算の二分の一以下かつ上限30万円としてホームページで公募した結果、本年度は、6団体8件の活動に対して助成しました。

(5) 支援活動

経済的、環境上の理由により検定の受検や漢字学習が困難な児童・生徒に対し、漢検の受検機会や学習書籍を無償で提供する学習支援を行いました。漢検の受検を通して日本語に親しむ機会を持つことで、

漢字の運用能力や学習意欲の向上に役立っています。

【本年度の対象および支援者数】

・要保護児童生徒（義務教育課程在籍者）無償受検	延べ 170 団体	733 名
・児童自立支援施設無償受検	延べ 145 団体	2,152 名
・児童養護施設/児童心理治療施設への学習教材の無償提供	延べ 185 団体	3,826 冊

2. 日本語・漢字に関する調査及び研究活動

日本の漢字とは何かを、漢字そのものの字体論や意味論等の側面から研究するのみならず、日本文化の側面からも研究する漢字文化研究や、日本語・漢字学習の普及啓発・支援活動ならびに日本語能力育成活動の深化と発展に資する研究活動を行いました。

（1）漢字文化研究

①漢検漢字文化研究奨励賞

広く漢字文化に関わる学術的研究・調査等のうち、将来一層優れた展開が期待され、有望視される学究に対して、漢字文化研究奨励賞を授け、顕彰しました。本年度は 5 点の論考が寄せられ、以下 2 名の論文が選ばれました。受賞論文を「漢字文化研究 第 15 号」として刊行するとともに、協会ホームページにも公開し、更なる研究の深化を奨励しました。

各賞	受賞者（敬称略）	論文タイトル
最 優 秀 賞	該当無し	
優 秀 賞	山本 久 （ヤマモト ヒサシ） 東京大学大学院 人文社会系研究科 博士後期課程学生	和化漢文における借字表記語彙について —中世文書の「目出（メデタシ）」を例に—
佳 作	郡司 祐弥 （グンジ ユウヤ） 一橋大学大学院 言語社会研究科 博士後期課程学生	重野安繹の漢字擁護論 —「実用」性の「実証」に基づく漢学の延命として—

②日本漢字学会

学術団体「日本漢字学会」の事務局機能を本年度も引き続き担い、12 月 14 日・15 日に第 7 回研究大会を東京外国語大学府中キャンパスにおいて、対面とオンラインで開催しました。研究大会では口頭発表 11 編の研究発表に加え、筑波大学名誉教授/聖徳大学名誉教授である林史典先生による記念講演会を行い、会員・一般の方あわせて約 140 名が参加しました。

（2）日本語・漢字教育研究

①漢字・日本語教育研究助成制度

学校教育法に定められている学校等の教職員が行う漢字・日本語（国語）教育の実践的な研究活動に対して、研究活動費の助成を行っています。本年度は 4 件の応募をいただき、選考委員会による審査の結果、1 件が採択となり 2025 年度研究活動費の助成を行うことが決定しました。

所属機関	研究（代表）者	研究題目
北海道文教大学	佐々木 雅哉	教育のデジタル化全盛における「文字を手で書く」意義～児童の字形の変化と漢字の習得を追って～

②検定の質的向上と能力判定の妥当性を高めるため、以下の分析を行いました。

- ・出題妥当性の検証と観点追加の検討

受検者データや解答データをもとに統計分析を行い、各問題の出題妥当性について検証を実施しました。「項目分析」や「合否判定力・弁別指数」など、多面的な検証が行えるように観点・指標の研究も進めました。

- ・受検者の誤答傾向の調査

漢検の答案に書かれた文字を分析し、各問題の誤答傾向を把握、「間違いやすい漢字」「学習時のポイント」の抽出を試みました。

- ・京都大学との研究プロジェクト「人工知能（AI）による漢字・日本語学習研究」の成果を活かした答案分析等

上記誤答分析をAIを利用して大規模・迅速に行う方法について検討を行いました。

- ・一般に使用される語句の調査

新聞記事等の外部テキストの分析を通して、社会における漢字使用の実態を把握するための調査を開始しました。

③漢字・日本語学習に関する学際研究

- ・ことばの学びEBPM推進支援

東京大学大学院教育学研究科および早稲田大学の学術研究者の協力のもと、「ことばの学び診断システム（仮）」の開発に必要な「認知診断モデル（CDM）」を応用した評価ツール開発を目指して共同研究を行いました。

- ・未来のリテラシー育成支援

青山学院大学と「学習科学青山研究所」を創設。AI校正支援ツールがリテラシー育成に及ぼす影響、およびAIやピア（仲間）との共同推敲がリテラシー育成に及ぼす影響とその評価の在り方について共同研究を行いました。

- ・言語活動に関する認知・身体機能支援

兵庫教育大学の学術研究者の監修のもと、これまでの京都大学大学院医学研究との研究成果を活用し、漢字テストの結果から認知能力を推定する技術や、文章データから認知症の進行を予測する技術の確立のための研究を行いました。

3. 日本語・漢字に関する能力育成活動

普及啓発活動によって日本語・漢字に興味関心を持った人々に学習する機会を広く提供するため、研修会、教材の発行等を行い、その学習成果と達成度を測る検定試験を実施し、合格証明書の発行を行いました。

（1）「日本漢字能力検定」（文部科学省後援事業）の実施報告

①検定級および検定料

級	検定料（税込）	
	公開会場 （個人受検・団体公開会場受検）	準会場 （団体受検）

1 級	6,000 円	-
準 1 級	5,500 円	-
2 級	4,500 円	3,500 円
準 2 級～4 級	3,500 円	2,500 円
5 級～7 級	3,000 円	2,000 円
8 級～10 級	2,500 円	1,500 円

②実施日

2024 年度は、年間 16 日程実施しました。

回	公開会場日程	対象級	準会場日程	対象級
第 1 回	2024 年 6 月 16 日 (日)	1～10 級	2024 年 6 月 14 日 (金)	2～10 級
			2024 年 6 月 16 日 (日)	2～10 級
			2024 年 6 月 29 日 (土)	2～10 級
			2024 年 7 月 5 日 (金)	2～10 級
第 2 回	2024 年 10 月 20 日 (日)	1～10 級	2024 年 8 月 21 日 (水)	2～10 級
			2024 年 10 月 12 日 (土)	2～10 級
			2024 年 10 月 18 日 (金)	2～10 級
			2024 年 10 月 20 日 (日)	2～10 級
			2024 年 10 月 25 日 (金)	2～10 級
			2024 年 11 月 2 日 (土)	2～10 級
			2024 年 11 月 8 日 (金)	2～10 級
第 3 回	2025 年 2 月 16 日 (日)	1～10 級	2025 年 1 月 25 日 (土)	2～10 級
			2025 年 1 月 31 日 (金)	2～10 級
			2025 年 2 月 7 日 (金)	2～10 級
			2025 年 2 月 15 日 (土)	2～10 級
			2025 年 2 月 16 日 (日)	2～10 級

③会場数

	第1回	第2回	第3回	計
公開会場	144	143	141	428
準会場	9,463	11,923	9,988	31,374
合 計	9,607	12,066	10,129	31,802

④漢検 CBT (Computer Based Testing)

通常の年 3 回 16 日程の検定日に限定せず、より多くの受検機会を設けることを目的として、コンピューターを利用した漢検 CBT を実施しました。

	会場数	志願者数
公開会場	249	59,020
準会場	110	2,153
合 計		61,173

⑤漢検オンライン

通常の年3回16日程の検定日に限定せず、より多くの受検機会を設けることを目的として、2023年度からタブレットを利用した漢検オンラインを開始しました。2024年度は対象級に8級・9級・10級を追加し、また自宅で受検できる個人受検を実施しました。

	団体数	志願者数
個人受検		1,292
団体受検	179	1,434
合 計		2,726

⑥志願者数・受検者数・合格者数

2024年度の志願者数は1,373,566人でした。回・級ごとの内訳は次のとおりです。

第1回

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	933	5,246	38,181	61,731	93,512	51,179	46,652	23,054	22,509	22,551	19,666	16,340	401,554
受検者数	843	4,739	36,639	59,991	91,288	49,737	45,067	22,360	21,824	21,771	19,012	15,481	388,752
合格者数	50	1,219	9,655	20,431	45,106	25,568	32,780	17,399	18,926	18,365	17,276	14,917	221,692
合格率(%)	5.9%	25.7%	26.4%	34.1%	49.4%	51.4%	72.7%	77.8%	86.7%	84.4%	90.9%	96.4%	

※4/1～7/31までの漢検CBT・漢検オンライン含む

1級～10級平均合格率 57.0%

第2回

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	889	5,063	36,277	67,448	125,451	64,708	45,757	26,097	25,131	24,788	20,579	15,894	458,082
受検者数	807	4,548	34,380	64,992	120,905	61,840	43,828	25,160	24,227	23,602	19,702	14,798	438,789
合格者数	91	1,165	9,870	24,422	58,004	30,759	29,869	18,625	20,869	18,943	17,449	13,775	243,841
合格率(%)	11.3%	25.6%	28.7%	37.6%	48.0%	49.7%	68.2%	74.0%	86.1%	80.3%	88.6%	93.1%	

※8/1～11/30までの漢検CBT・漢検オンライン含む

1級～10級平均合格率 55.6%

第3回

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	940	5,180	36,752	57,661	91,590	52,760	55,803	46,020	46,331	45,886	40,708	34,299	513,930
受検者数	830	4,643	34,775	55,094	87,294	50,429	53,584	44,709	45,045	44,336	39,450	32,752	492,941
合格者数	65	796	11,182	21,361	40,930	26,252	40,241	35,008	39,499	37,132	35,167	31,038	318,671
合格率(%)	7.8%	17.1%	32.2%	38.8%	46.9%	52.1%	75.1%	78.3%	87.7%	83.8%	89.1%	94.8%	

※12/1～3/31までの漢検CBT・漢検オンライン含む

1級～10級平均合格率 64.6%

2024年度総計

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	2,762	15,489	111,210	186,840	310,553	168,647	148,212	95,171	93,971	93,225	80,953	66,533	1,373,566
受検者数	2,480	13,930	105,794	180,077	299,487	162,006	142,479	92,229	91,096	89,709	78,164	63,031	1,320,482
合格者数	206	3,180	30,707	66,214	144,040	82,579	102,890	71,032	79,294	74,440	69,892	59,730	784,204
合格率(%)	8.3%	22.8%	29.0%	36.8%	48.1%	51.0%	72.2%	77.0%	87.0%	83.0%	89.4%	94.8%	

※4/1～3/31までの漢検CBT・漢検オンライン含む

1級～10級平均合格率 59.4%

※志願者数には、漢検 CBT 志願者、漢検オンライン志願者および当協会が判断した事由（伝染性病症や天災地変など）により今年度受検を申し込み、次年度以降に実施日を繰り越し、もしくは検定料を返金した志願者を含む。

⑦資格活用状況調査

全国の私立中学校における「漢検」の活用状況を調査しました。調査結果は次のとおりです。

学校区分	調査対象数	回答数	活用校数
私立中学校	766	388	117

⑧成績優秀者表彰

漢字学習に取り組んでいる人への努力を賞し、さらなる学習の励みとしていただく目的で、本年度「漢検」を受検した方や団体の中から「成績優秀者および団体」を決定しました。また、2024 年度より「文部科学大臣賞」（個人賞：1～3 級上位得点者より、各年度各級 1 名、計 5 名 団体賞：4 団体）を新設しました。2025 年 7 月 10 日に成績優秀者表彰特設サイトを WEB 上に開設する予定です。また、個人の部については、2025 年 8 月 10 日（日）に成績優秀者表彰式にて授与式を行う予定です。

個人賞 計 221 名・家族 6 組

◇文部科学大臣賞	1～3 級	合計 5 名
◇日本漢字能力検定協会賞	1～10 級	合計 36 名
◇全国検定振興機構理事長賞	1～10 級	合計 36 名
◇優秀賞	1～10 級	合計 37 名
◇奨励賞	1～10 級	合計 104 名
◇特別賞		
＜個人の部＞ 級を問わず年間での最高齢合格者		1 名
1 級・準 1 級各級の最年少合格者		2 名
＜家族の部＞		6 組

団体賞 計 366 団体

◇文部科学大臣賞	4 団体
◇最優秀団体賞	20 団体
◇優秀団体賞	101 団体
◇奨励賞	145 団体
◇特別賞	96 団体

※受賞者・受賞団体数は 2025 年 5 月 2 日時点のもの

⑨各種表彰制度

・「満点賞」

満点合格者の努力を称え、さらなる学習の励みになるよう、各級に満点で合格された方に、満点合格証書を発行しました。当年度の満点合格者は延べ 27,894 名でした。

・「家族受検表彰制度」

生涯学習の奨励と受検者の学習意欲向上を目的として、家族そろって合格した場合に、個別の合格証書に加えて、合格した家族全員の氏名が入った「家族合格表彰状」を申請希望により授与しました。当年度の希望家族数は 3,782 件でした。

・「団体内表彰制度」

受検者の学習意欲の向上を目的として、各団体が独自の基準で合格者を表彰できるよう、「表彰支援セット（賞状・楯・文具）」を制作し、1日程の志願者数80名以上または年間累計志願者数80名以上の条件を満たした希望団体239団体に424セットを送付しました。

(2)「BJT ビジネス日本語能力テスト」(文部科学省後援事業)の実施報告

2017年度より実施形式が従来のPBT(Paper Based Testing)からCBT(Computer Based Testing)に移行しています。

①受験料

7,000円(税込、日本国内)

②実施日

各テスト会場の開設日時に応じて随時

③実施地

国内：51都市63会場

海外：20国／地域52会場

④志願者数

	志願者数
国内	4,290
海外	2,560
合計	6,850

(3)「文章読解・作成能力検定」(文部科学省後援事業)の実施報告

漢字学習の先にある、日本語文章を読み解き、作成する能力を育成するための「文章読解・作成能力検定」を実施しました。

①検定級および検定料

2級：4,000円 準2、3級：3,000円 4級：2,000円

②実施日

2024年度は、年間7日程実施しました。

公開会場日程	対象級	準会場日程	対象級
2025年2月16日(日)	2～4級	2024年7月17日(水)	準2～4級
		2024年8月22日(木)	準2～4級
		2024年11月1日(金)	準2～4級
		2024年11月15日(金)	準2～4級
		2025年1月24日(金)	準2～4級
		2025年2月5日(水)	準2～4級
		2025年2月16日(日)	2～4級

③会場数

	第1回	第2回	第3回	合計
公開会場			3	3
準会場	35	152	128	315
合 計	35	152	131	318

④志願者数・受検者数・合格者数

2024年度総計

	2級	準2級	3級	4級	計
志願者数	617	5,346	12,082	6,650	24,695
受検者数	578	5,063	11,310	6,114	23,065
合格者数	469	3,150	7,437	3,971	15,027
合格率(%)	81.1%	62.2%	65.8%	64.9%	

2級～4級平均合格率

65.2%

⑤文章力テストの実施

企業等の団体において、任意の日時・場所で受検できる文章力テストを実施し、1,723 人が受検しました。

⑥文章能力養成のための研修および学習・アセスメントツールの提供

企業・大学等の団体に対して、集合型・オンラインによる研修や文章学習・アセスメントツール「論理的文章力トレーニング」シリーズ（利用者 5,533 人）を提供しました。

(4) 学習支援講座

①漢検生涯学習ネットワーク研修会

漢検 1 級・準 1 級合格者に漢字や日本語についてより深く学ぶ機会を提供するため、漢検生涯学習ネットワークを組織しています。会員向けの通信を年 3 回発行（ホームページでも公開）し、研修会を 3 回開催しました。

また、2025 年 3 月をもって紙での会員向けの通信の発行と研修会の開催を終了とし、今後はメールマガジンでの情報提供や、会員限定イベントの開催を行うこととしました。

第 37 回研修会

日時：2024 年 4 月 7 日（日） 13:30～15:30

場所：東京都・主婦会館プラザエフ

講演：『奈良時代の漢字仮名交じり文』

池田 幸恵 氏（中央大学文学部 特任教授）

申込者：92 名

第 38 回研修会

日時：2024 年 7 月 7 日（日） 13:00～15:00

場所：福岡県・エიმアテイン博多駅東貸会議室

講演：『近代日本で起きた俗字と略字の変化』

山下 真里 氏（熊本大学大学院人文社会科学部 准教授）

申込者：24 名

第 39 回研修会

日時：2024 年 11 月 3 日（日・祝） 13:00～15:00

場所：京都府・漢検 漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）
 講演：『漢字の音読みと訓読みの歴史－文字と言葉の不思議な関係－』
 尾山 慎 氏（奈良女子大学 准教授）
 申込者：55 名

※肩書は講演当時のもの

②漢字教育サポーター育成講座（講師養成）

「漢検生涯学習ネットワーク会員」を対象に自らの漢字の知識を各地域の学習支援に生かせる講師を養成しました。

また、漢字教育サポーター登録者を対象にした研修会を年 2 回行いました。

○4 月度研修会

日 時：2024 年 4 月 14 日（日）10:30～11:30

テーマ：『こんなサポーター講座をやりました！』

登壇者：中川 智美 氏（不動わくわくアカデミー）・四方 佐知子 氏（漢字教育サポーター1 期）

方 法：オンライン（Zoom）

申込者：146 名

○11 月度研修会

日 時：2024 年 11 月 3 日（日・祝）10:00～11:30

テーマ：『講座プランを作ろう』

場 所：漢検 漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）（対面開催）

講 師：協会職員 梅春 奈津子

申込者：9 名

③漢字教育サポーター紹介制度

漢検の上位級（1 級・準 1 級）の合格者で、一定の専門的知識を有している者（「漢検生涯学習ネットワーク」会員で「漢字教育サポーター育成講座」を修了した者）を漢字教育サポーターとして登録し、そのプロフィールをホームページ等で公開することにより、講座の開講を希望する団体等に紹介する学習支援活動を行いました。紹介実績 11 件。

漢字教育サポーター登録者数：810 名

（5）教材の発行

広く一般の人々に対し学習の機会を提供する手段として、教材や参考書を発行し、書店や教育現場を通じて流通させました。あらゆる分野のあらゆる年齢層の人々に対し、その多様な学習ニーズに応える教材として、次の学習教材を提供しました。

① 検定・テストに対応するもの

「漢検 漢字学習ステップ」「漢検 過去問題集」「これでなっとく！漢検クイックスタディ」「文章力ステップ」ほか

・・・・・・853,693 冊

②日本語・漢字への興味関心を喚起するもの

「漢検 漢字辞典」「漢字学ことはじめ」「マンガで体験！にっぽんのカイシャ」「それ、知りたかった！カイシャの日本語～マンガで学ぶ ビジネススキル&ボキャブラリー～ 難易度別語彙表

付き」ほか

・・・・・・9,911 冊

合計 863,604 冊

また、上記の有料の教材や参考書だけでなく、無料で利用していただける教材も制作し、教育現場等を通じて提供しました。

① 検定・テストに対応するもの

「漢検 50 問プリント」「漢字学習サイクルプリント」ほか

・・・・・・662,118 部

② 日本語・漢字への興味関心を喚起するもの

「漢字でわーく・わーく」「漢字王国と僕と私の不思議な 15 日間」ほか

・・・・・・549,426 部

合計 1,211,544 部

③その他デジタル教材

「漢字学習アプリ『いちまると旅しよう！ しりもじ漢検』」「作文学習アプリ『いちまるとはじめよう！ことばむすび』」ほか

Ⅱ．理事会・評議員会に関する事項

2024年度の理事会・評議員会の開催状況は以下の通りである。

- ・理事会（定例）

日 時：2024年6月6日（木）午前10時～

場 所：当協会 京都本部および非常勤役員の活動拠点（web 会議）

出席者：理事7名、監事2名

- ・評議員会（定時）

日 時：2024年6月21日（金）午後2時～

場 所：当協会 京都本部および評議員の活動拠点（web 会議）

出席者：評議員7名、理事3名、監事2名

- ・理事会（決議の省略の方法による）

日 時：2024年6月27日（木）

同意者：理事総数8名全員の同意

- ・理事会（定例）

日 時：2024年9月4日（水）午前10時～

場 所：当協会 京都本部および非常勤役員の活動拠点（web 会議）

出席者：理事9名、監事2名

- ・理事会（定例）

日 時：2024年12月5日（木）午前10時～

場 所：当協会 京都本部および非常勤役員の活動拠点（web 会議）

出席者：理事8名、監事2名

- ・理事会（定例）

日 時：2025年3月6日（木）午前10時～

場 所：当協会 京都本部および非常勤役員の活動拠点（web 会議）

出席者：理事7名、監事2名

- ・評議員会（臨時）

日 時：2025年3月25日（火）午後2時～

場 所：当協会 京都本部および評議員の活動拠点（web 会議）

出席者：評議員7名、理事3名、監事1名

Ⅲ．その他

特記事項はありません。

IV. 後発事象

該当ありません。

V. 附属明細書

2024 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書は作成しません。

2025 年 6 月

公益財団法人 日本漢字能力検定協会